



株式会社浜屋
サステナビリティレポート2022

*Sustainability
Report
2022*



代表メッセージ

2022年度はコロナ禍の影響をふまえ、とにかく基本を見直し、再徹底した一年でした。おかげ様で、過去最高の売上を達成することができました。これもひとえに日頃からご協力いただいている皆様のおかげです。改めて感謝申し上げます。

店舗運営の効率化、商品販売先の最適化など最大限でできることに取り組み、少しずつ結果につながってきていると感じております。

また、社員が安心・安全に働ける環境を整えるために、社内での安全研修に注力し、会社全体で安全な職場づくりに取り組みました。

社員のエンゲージメント向上を目指し、社員一人ひとりが浜屋と共に成長できるよう、改めて人材育成にも力を注いでおります。

持続可能な社会形成に向けて、企業に求められる責任も年々強まっております。当社が社会から求められる役割もまた、より一層大きくなってきていると感じています。リユース・リサイクルの可能性を追求し、循環型社会の実現に向けて、当社はこれからも邁進してまいります。

株式会社浜屋 代表取締役 小林 茂

CORPORATE PHILOSOPHY

浜屋に関わる全ての方と共に成長し、喜びを共有する。私たちはどうすればお客様が喜んでくれるかを常に考え、全ての方に感謝し、平等、公平に行動します。それが浜屋のポリシーであり行動原理です。

Contents

- 02 代表メッセージ
- 04 会社概要
- 06 マテリアリティ
- 08 国連グローバルコンパクト

[事業紹介]

- 10 リユース事業
- 16 リサイクル事業
- 24 キフコレ
- 26 パートナースhip

[サステナビリティ]

- 28 環境
- 30 人権・労働
- 36 腐敗防止
- 38 社会貢献活動

報告対象期間：2021年10月～2022年9月
一部、当該期間外の内容も記載しています。

Company Information

株式会社浜屋

設立

1991年1月21日

従業員数

350人

資本金

6,000万円

売上高

161億円

住所

〒355-0076

埼玉県東松山市下唐子1594

☎ 0493-24-5345

国内グループ法人

有限
会社 儀間商店

 USED NET

海外法人

HAMAYA DO BRAZIL

HAMAYA France

その他

保育事業

化粧品事業

保険事業

不動産事業

北欧家具事業部

フィットネス事業

特定非営利活動法人はまや

拠点

国内 19ヶ所

海外 2ヶ所

その他事業・関連グループ 18ヶ所



Materiality (重要課題)

浜屋では、これまでリユース・リサイクル事業を通して循環型社会の実現を目指してまいりました。2018年11月には「国連グローバル・コンパクト」に署名し、より一層、事業を通じた社会課題の解決に力を入れるとともに、世界が目標に掲げるSDGsの達成に向けて社会にできることを考え行動しています。

私達は、SDGs ゴール 12「つくる責任、つかう責任」
ターゲット 12.5「2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。」を当社のマテリアリティと設定し、取り組んでいます。

これらを達成するために、以下の目標を定めています。

海外リユース点数：875万点（コンテナ2175本）/年

国内リユース点数：230万点/年

ベースメタルリサイクル数量：65,000t /年

都市鉱山リサイクル数量：3,600t/年



WE SUPPORT



国連グローバル・コンパクト(UNCG)署名

株式会社浜屋は、2018年11月、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト」(以下UNCN)へ署名し、参加企業として登録されるとともに、日本におけるローカルネットワークである「グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン」に加入いたしました。浜屋は、国連グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」に関する10原則を支持し、すべてのステークホルダーに対して責任ある経営と持続可能な社会の発展に向けた取り組みを推進してまいります。

株式会社浜屋 代表取締役
小林 茂



REUSE

浜屋では、廃棄されるはずだった製品を中古製品として買取り、海外へ輸出販売をしています。浜屋のリユース事業は、資源のグローバル循環へ大きく貢献しています。これまで家電製品や自転車を中心に商品の取り扱い量を増やして参りましたが、現在ではそれだけでなく、家具や雑貨など生活用品全般から、古道具、民芸品、骨董品などまで取り扱っています。

循環型社会の実現・環境負荷軽減

国内で不要となった家電製品や家具雑貨など、多種多様なものを国内外で必要とされる新たな使用者の元へ届けるリユース事業は、廃棄物の排出量削減に大きく貢献しています。

浜屋でリユース品が取引されたことで、年間約1,000万点以上*1 の家電製品や家具雑貨、自転車等が廃棄されずに、次の必要な人の元へ渡っています。

廃棄物削減によりCO2排出量も削減Aすることができ、環境負荷軽減、気候変動への対応にもつながっています。

浜屋では、約70か国*2 の国々へリユース品を届けており、グローバル規模での循環型社会の実現に大きく寄与しています。

*1 2021年10月 - 2022年9月の国内外取扱量 *2 これまでの取引実績国数

世界の人々の暮らしの向上

浜屋は、開発途上国を中心とした約70か国*2 の国々へリユース品を届けています。それらの商品が現地で一つひとつ修理、販売されることで、現地の雇用創出にも繋がっています。また、新品を購入することのできない人々が、安価で日本の中古品を入手することができ、人々の暮らしの向上に貢献しています。

回収ネットワーク構築

行政や約3万8千の事業者を中心としたネットワークを構築し、不要品回収をしています。浜屋の全国の拠点を通して、あらゆる人々から不要品の回収をしています。



REUSE 海外

取引実績国数

70カ国 / 年*1

アメリカ、カンボジア、カメルーン、ギリシャ、グアテマラ、シンガポール、タンザニア、チリ、ドバイ、フィリピン、フランス、ブルガリア、マリ、マレーシア、ミャンマー、ナイジェリア、ニカラグア、パキスタン、ペルー等

コンテナ輸出本数

2,124 本 / 年*2

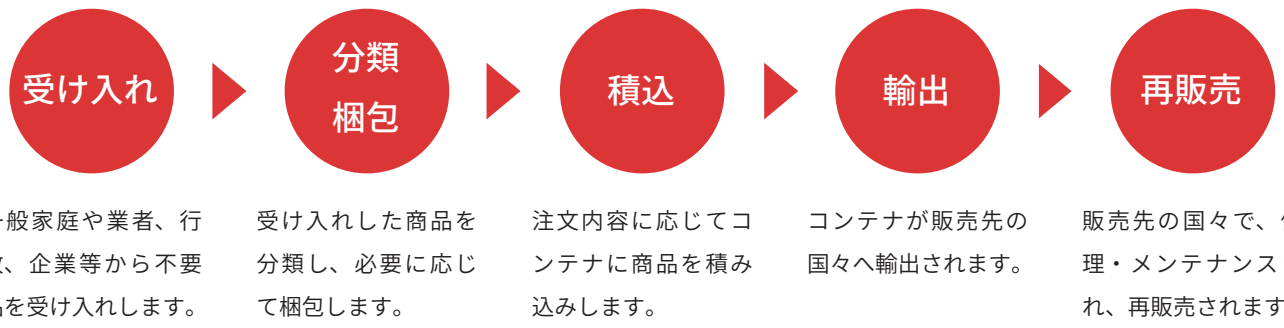
商品輸出点数

787 万点 / 年*2

*1 これまでの取引実績国累積
*2 2021 年 10 月 - 2022 年 9 月実績



リユース品海外販売の流れ



REUSE 国内

浜屋で受け入れた商品の一部は、企業にてクリーニング、修理、整備を行い、リユース品として国内流通しています。一品一品、知識を持った技術者によってメンテナンスされ、国内で必要とする次の使用者へ送り届けています。

国内流通点数
226 万点 / 年

*2021年10月～2022年9月実績

1. 受け入れ 一般家庭や業者、行政、企業等から不用品を受け入れます。	2. 分類 受け入れた商品を分類し、一部の商品をグループ企業へ送ります。
3. 修理 メンテナンス グループ企業にてクリーニング、修理、整備をします。	4. 再販売 国内で、再販売されます。



希少性や美術的な価値がある古道具、民芸品、骨董品、古美術品などの一部は国内でも流通させています。



北欧家具事業部
北欧家具 tanuki

デンマークやイギリスから仕入れた味わいのあるヴィンテージ家具の輸入販売を行っています。輸入した家具は北欧家具tanukiのある東松山の工場一品ずつ隅々までクリーニングや補修を行い、丈夫で長持ちする北欧家具に再生させます。北欧家具tanukiでは、世界にある「もったいない」を日本に届ける役割を担っています。



RECYCLE

浜屋では、全国の17店舗にて、鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行うベースメタルリサイクル事業を展開しています。都市鉱山リサイクル事業では、廃電子基板等に含まれる貴金属の含有量を分析できる環境を自前で整えるとともに、分解・破砕などの加工作業を担う工場を運営し、一連のリサイクル過程の中で大きな役割を担っています。これらの取り組みによって競争力を高め、適正かつ高単価での買取りを可能にしており、安定した品質のリサイクル材の納品に繋げています。



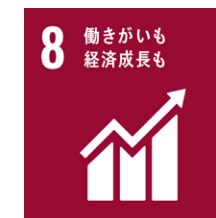
循環型社会の実現・環境負荷軽減 リサイクル品取扱量 約67,000t

金属資源や廃基盤等を回収し、国内精錬メカへ橋渡しをすることを通して、廃棄物の排出量を大きく削減しています。浜屋では、鉄・銅・アルミなどの金属資源や廃電子基板等のリサイクル品を、年間約67,000t*取り扱っています。

ブラジルのグループ企業や、その他海外の取引先より廃電子基板を回収しており、国内だけに留まらずグローバルな資源循環に寄与しています。

これらの金属資源を再資源化することで、CO2の排出量も削減することができ、環境負荷軽減、気候変動への対応にもつながっています。

*2021年10月～2022年9月のベースメタル・都市鉱山リサイクル品取扱量



障害を持つ人々の就労支援

浜屋が回収したゲーム機やノートパソコンなどの小型家電製品の解体・分別を、就労支援施設に委託することで、障害を持つ人々の就労機会の創出と就労支援に貢献しています。

回収ネットワーク構築

約3万8千の事業者を中心としたネットワークを構築し、不要品回収をしています。浜屋の全国の拠点を通して、日本全国のあらゆる人々からの回収を可能にしています。

RECYCLE

ベースメタルリサイクル事業

ベースメタルリサイクル事業では、鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行っています。日本国内には、金属資源を有効活用するための様々なリサイクルシステムと技術が存在します。金属資源を安定的にリサイクルするためには、回収網の構築とリサイクル可能な状態に分別・加工することが重要です。浜屋では、全国 17 拠点を活用して、安定した金属資源の回収に努めています。回収された金属資源は、最適なリサイクルシステムにより新たな資源へと生まれ変わっていきます。



ベースメタル取扱量
63,000t*
*2021 年 10 月～2022 年 9 月実績



金属資源の一部は必要に応じてグループ会社で切断、圧縮、加工を行います。



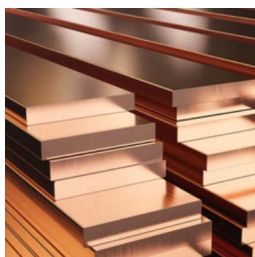
受け入れ
一般家庭や業者、行政、企業等から不用品を受け入れます。



仕分け・保管
受け入れたものを金属の種類ごとに分類し、一定の量になるまで保管します。



出荷・再資源化
国内精錬メーカーや商社へ出荷します。



再資源化
再資源化されます。

ベースメタル取扱品

工事廃材	製造廃材 部材の棚卸し	工事設備・ 装置の更新	その他
解体工事の鉄くず / ガスメーター / 蛇口 / 電線 / 銅 / パイプアルミサッシ等	セバ / コーベル / 超硬 / メッキ治具 / ハイス銀ろう / メッキしゃぶり / 銅 / ポビン / ハンダ等	製造ライン / 蓄電設備 / バッテリー / トランス / プレーカー / シーケンサー等	自動車触媒 / はんだ / タンタル / スズ / ニッケル / コバルト / ネオジム等

RECYCLE 都市鉱山リサイクル事業

都市鉱山リサイクル事業では、国内のみならず海外からも廃電子基板や廃電子機器等を回収し、国内の精錬工場へ橋渡しをしています。パソコンや携帯電話等に含まれている、金・銀・パラジウム・プラチナなどの希少な貴金属を再資源化しています。浜屋では、廃電子基板等に含まれる貴金属の含有量を分析できる環境を自前で整えるとともに、分解・破碎など加工作業を担う工場を運営し、一連のリサイクル過程の中で大きな役割を担っています。



都市鉱山リサイクル品取扱量

3,780t*

*2021年10月～2022年9月実績

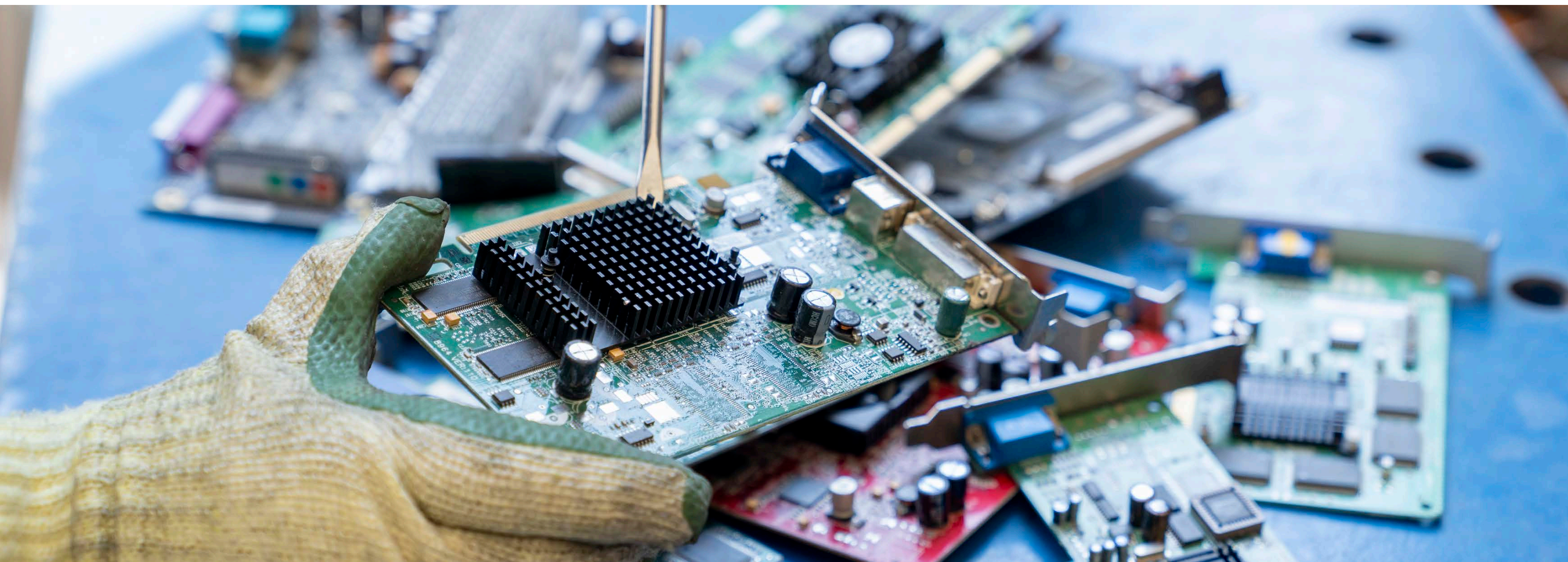
取引実績国

フィリピン、ブルネイ、シンガポール、香港、インドネシア、ブラジル

※廃電子基板を回収してきた国々

分析センター

自社で分析センターを保有しており、ICP発光分光分析装置を使用して、廃基板などに含まれる貴金属の含有量を計測しています。正確な含有量を計測することにより、適正な価格での買取を可能にしています。



東日本マテリアルセンター

2022年6月に廃電子基板などの保管、品質管理、破碎販売を行う「東日本マテリアルセンター」を開所いたしました。
より性能の高い破碎機を導入し、高効率でリサイクルできる環境を整備しました。東日本マテリアルセンターでは、小型家電等の分別・解体も行っています。



ISO認証登録9001/14001/27001

※認証範囲 東日本マテリアルセンター



○キフコレ

不要品を段ボールに入れて郵送いただき、寄付いただくサービスを実施しています。リユース品として再利用できるものは、途上国にてリユースされ、小型家電の一部は、解体・分別されてリサイクルされます。
 売上の一部で、1回で100ℓの水をキレイにする浄化剤を途上国に寄付する仕組みになっており、要らなくなったものを捨てるのではなく、誰かに役立てたいという思いを持った方々にサービスをご利用いただいています。

2022 年 9 月末までの寄付実績



水浄化剤
150万L相当



飲み水
60万人の1日分

キフコレの特徴

環境保護

不要品を寄付いただくことで本来廃棄されるはずだったものを再利用・再資源化することができ、廃棄物の排出量削減になり、CO2排出量削減にもつながっています。

水浄化剤の寄付

売上の一部を国際機関を通じて浄化剤を寄付することで、途上国で、人々が安心・安全な水を手入することに役立っています。

開発途上国の人々の暮らしの質の向上

リユース品を開発途上国の人々に届けることで、現地の人々の暮らしの向上に貢献しています。

障害者の雇用創出

一部の電子機器等の小型家電は、就労支援施設に解体・分別を委託しており、障害者の雇用創出や就労支援に貢献しています。



Partnership

浜屋は、他社と協力して新たなサービスを提供しています。また、国内外のグループ企業と連携し、浜屋に集まってくるありとあらゆる物を最適な形でリユース・リサイクルしています。グループ全体の力を活かし、商品価値を最大化しています。



2020年より、運送業界を代表する赤帽と協力し、不要品をリユース（再利用）とリサイクル（再資源）につなげる回収サービスを開始しました。売上の一部で水を綺麗にする浄化剤を寄付する仕組みをつくり、途上国を支援しています。



2022年2月7日に、株式会社スタイルエージェントと協力し、株式会社uragamiを設立しました。不要品として回収された家具などを什器として蘇らせ、什器を使った空間演出に活用しています。2022-2023年も百貨店等の催事場にて、uragamiの什器が使用されました。

ユーズドネット

浜屋に集まった商品の内、国内にてより需要のある物に関しては、ユーズドネットにて、クリーニング、修理、整備を行っています。一品一品、知識を持った技術者によってメンテナンスされ、国内で必要とする次の使用者へ送り届けています。

NPO法人はまや鶴ヶ島・NPO法人はまや都

NPO法人はまやは、就労継続支援B型の就労支援施設で、障害や難病があり企業で働くことが困難な方の就労訓練を行っています。浜屋で回収されたパソコンやゲーム機などの小型家電の解体・仕分けをしています。

儀間商店

儀間商店では、鉄・非鉄金属の産業廃棄物処理を専門に行っています。浜屋で回収された鉄・非鉄金属の一部が、儀間商店にて切断、圧縮、加工されています。加工を行ったのち、国内精錬メーカー等へ引き渡し、リサイクルへつなげています。

HAMAYA DO BRASIL

浜屋ブラジルでは、現地企業や業者等から電子基板を回収し、仕分け・分解作業を行っています。仕分けされたのち、日本の精錬メーカーへ引き渡しリサイクルしています。

HAMAYA FRANCE

浜屋フランスでは、国内で収集した、古道具、民芸品、骨董品などをフランスにて販売しています。国内では買値が付きにくい物であっても、フランスでは人気がある物も多々あります。フランス国内の様々な地域のお客様に浜屋の商品をお届けしています。

環境

消費電力削減

脱炭素化社会の実現に向けて、電力や排出ガスなど環境負荷の少ない設備機器に変更し、消費電力削減に努めています。設備の更新を進めたことで、エネルギー期限CO2の排出とランニングコスト削減の実現に加え、運用改善、業務効率化、労働環境等の見直しにも繋がっています。



フォークリフト

使用しているフォークリフトの内97%を、排気ガスが発生しないバッテリー式にしています。排出ガスの排出と騒音を抑えることができ、倉庫内で作業に従事する社員の健康被害のリスク低下にも繋がっています。

複合機

全社で、消費電力やカートリッジ交換の負担が少ない複合機を使用しています。

布おしぼり

各拠点でお客様に用意しているおしぼりは、全て布おしぼりをリースする業者と提携し、廃棄物削減に努めています。

LED

全社で、蛍光灯よりも使用期限が長く消費電力が少ないLED照明に変更しています。

再生可能エネルギー

太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用に貢献しています。



エコトピアHP <https://ecotopia.earth/>

環境意識を高める啓蒙・啓発活動

環境問題の最新ニュースや、リサイクルの豆知識などの情報を発信するサウンドメディアエコトピアを運営し、環境への興味や関心を高める啓蒙・啓発活動を実施しています。

より多くの人に環境問題を知ってもらい、リユース・リサイクルに関する意識を高めることで、より良い環境と資源を次世代に残し人類と地球を発展させることを目指しています。

※Yahoo! JAPAN SDGsやOsean+αに記事の提供をしています。

エコトピアの由来

エコトピア(ecotopia)とは、エコロジー(ecology)と理想郷を意味するユートピア(Utopia)を合わせた言葉で、地球環境に優しい理想の国や地域のことを言います。

また、1975年に出版されたアーネスト・カレンバックの小説「エコトピア」が、その語源となっています。小説の中でエコトピアは、自然との共存を重視し、幅広いリサイクルを行う国家として描かれました。地球からの恵みを分かりあい、控えめに消費することや、利益を追求するために地球を傷付けない、などと言った信条を持ちながら、人々がリベラルなライフスタイルで生活する理想の国です。

そんな社会を実現するためにも、エコトピアの名前を由来として、私たちは環境やリサイクルに関する様々な情報を発信しています。

人権・労働

働きやすい環境づくり

従業員が働きやすい環境を整えるために、様々な取り組みを実施しています。安心・安全に働ける職場環境を整備する他、社員の健康増進に向けた取り組みも行っています。また、有給取得や出産・育児休業取得を支援する制度づくりにも注力しています。

「働きやすさ」に加えて「働きがい」のある職場を目指し、従業員のエンゲージメント向上につなげています。



障害者の就労機会の創出と就労支援

浜屋が回収した一部の小型家電の解体・分別を障害者の就労支援施設に委託することで、障害者の就労機会の創出と就労支援に役立てられています。解体・分別に対して工賃を支払っており、自立支援にもつながっています。

【表記について】

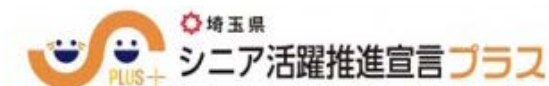
浜屋では以下の考えから「障害」という漢字を使用しています。

- ・「障害」というのは障害者本人ではなく社会の側の障害のことであり、障害者は社会にある障害と向き合っている人たちだという考えが根本にある。
- ・「障害者の気持ちを汲んで労る」という気遣いは、少々見当違いであり、現実的な社会の障害を取り除くことのほうが大事。

高齢者の雇用

浜屋は、2022年4月に「埼玉県シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定を受けました。

これまでも、元気なシニアが自分の希望にあわせて働くことができるよう、定年・継続雇用の年齢延長や定年の廃止、シニア向けの仕事の創出など、シニアの活躍の場を拡大する取組を推進する企業を認定する「シニア活躍推進宣言企業」の認定を受けていましたが、定年を廃止、定年を70歳以上又は継続雇用の上限年齢を70歳以上としていることから、「埼玉県シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定をいただきました。





ハラスメント対策

2020年6月1日のパワハラ防止法を受け、2022年4月1日から中小企業でも会社としての対策が義務化されました。それを受けて、全社員を対象にハラスメントに関する実態調査を実施いたしました。
更に、セクシャルハラスメント・パワーハラスメントとメンタルヘルスの基礎知識を学ぶ外部オンライン研修受講を、課長職以上の全管理職に必須化しました。

改善提案制度

社員が業務改善や新たなアイデアを提案できる「改善提案制度」を設けています。グループを横断した提案など、会社の改善に関わる内容は全て対象となります。社員から提案された内容は、各部署の代表者によって、毎月提案会議内で採否が決定されます。匿名での提案も可能で、提案された内容は社内SNSにて全社員が全て閲覧することができます。提案が採用されると、内容に応じて報奨金が出ます。

エンゲージメントサーベイ調査

年に2回、組織や社員のエンゲージメント状態を可視化・数値化する外部のサーベイ調査を導入しています。組織の強み・課題を分析し、部署ごとに改善に向けた取り組みを実施しています。サーベイ調査は全て匿名で実施され、秘匿性が担保されています。サーベイ調査を通して、会社や上司に関する意見を自由に述べるができます。

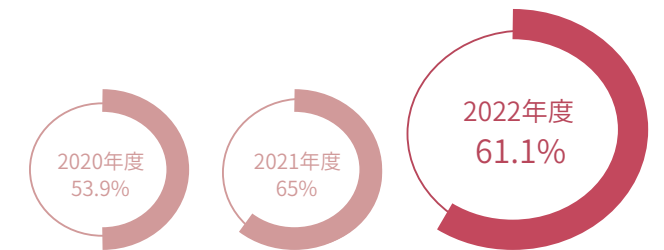
提案の採用例

ワクチン接種後1日特別休暇付与
商品名変更
領収書サイン方法のルール化
非接触型検温器導入
商品基準変更
ズボン防寒着支給 等

採用件数
21件
提案件数
74件
※2021年度実績

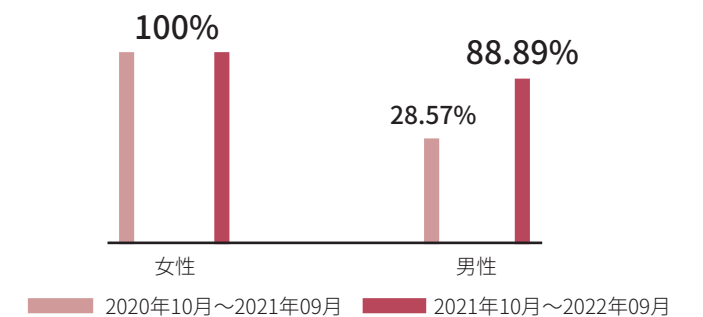
有給休暇

全社員が積極的に有給休暇を取得できる環境整備をしています。人員が少ない拠点の社員が有給休暇を取得できるように、サポートメンバーを採用し各店舗へ派遣する体制を整えました。年々、有給休暇取得率が上昇しています。



育児休業制度

育児休業制度を男女ともに取得することを推奨しています。
休職者へのフォローを行い、職場復帰のタイミングなど復職支援の面談を実施しています。
必要な時に出産・育児に専念できる環境、そして安心して職場復帰できる環境をつくっています。



企業内保育所

2018年に企業型主導型保育所「もれあ保育園」を開園しました。会社近くに設置し、子どもの急な体調不良等にも対応しやすい環境になっています。社員の子どもは、枠を確保することができ、優先的に入園することができます。これにより、女性社員の希望に応じたタイミングでの職場復帰がしやすくなりました。

もれあ保育園

“もれあ”とは、ヨーロッパ原産の花の名前で、花言葉は『感受性』です。感受性豊かな子どもに育ってほしいという願いから『もれあ保育園』と名付けられました。
自己肯定感を育み生きる力の土台をつくることを保育方針に掲げ、子ども達の自主性を尊重する保育を行っています。

対象：生後6か月～5歳児
入所定員：30名 ※地域の子供は定員の50%まで
所在地：埼玉県東松山市大字新郷11-1
※企業主導型保育所とは、多様な就労形態に対応した保育サービスが可能な事業で、他企業との共同利用や地域の子どもの受け入れも行っています。





事故防止に向けた取り組み

事故防止に向けて、会社全体で注力して取り組んでいます。管理職と連携しながら、新たな取り組みを開始しています。

事故削減プロジェクト

店舗現場での事故削減を目指し、2022年度より事故削減プロジェクトを発足しました。各エリアの店舗管理者がプロジェクトに参画し、毎月の事故発生件数を管理しています。事故の深刻度や規模に関わらず全て報告することを徹底し、事故発生要因の解明や再発防止に向けた対策ができる体制を整えました。

フォークリフト運転に関するマニュアル作成に取り組み、各店舗にて安全なフォークリフト操作ができるよう注力しています。

安全研修実施

社内で実施している管理者研修にて、安全研修を実施しました。管理職間で現状発生している事故の状況を共有し、グループワークを通して、事故発生の原因や対策を考え議論しました。基本のルールや5Sの徹底、事故が起きた際の対応やアフターフォローを学び、理解を深めました。



人材育成

社員の自己実現に向けて成長し続けられるよう、社内外の研修を受講できる環境をつくっています。社員のニーズにあわせて、スキルアップできるようサポートしています。研修後は社内の研修アプリ内にて研修報告書を記入し、研修での学びをその後に活かせる仕組みをつくっています。

ラーニングイノベーションアワード2022 ラーニングカルチャー賞受賞

ラーニングエージェンシーの研修プログラムを導入し、全社員の希望に応じていつでも研修を受講できる環境が整備されています。2022年は、Biz Campusを導入し2年以内で、直近の受講率（研修受講数/ID登録者数）が継続的に高いことが認められ、ラーニングイノベーションアワード2022にてラーニングカルチャー賞を受賞しました。

※Biz Campusでは、Planning & Control（円滑に仕事を進めるための計画性・実行力 / Communication（人間関係を模索するためのコミュニケーションスキル） / Thinking（ビジネスシーンに必要な基礎的な考え方） / Business Knowledge（覚えておくべきビジネス基礎知識）の4テーマに関する研修が提供されており、新人から経営幹部までの各階層のニーズに合った研修があります。



健康増進に向けた6つの取り組み

01. 安全衛生委員会

社員の健康増進のため、社内に安全衛生委員会を設置し、社員の健康の維持と向上に取り組んでいます。

02. ストレスチェック

厚労省で定める指針57項目と「こころの健康診断」15項目に関するストレスチェックを、全社員を対象に実施しています。高ストレス者に対しては、保健士・産業医・健康管理士による個別面談を実施し、必要なフォローができる体制を整えています。

03. 健康経営に関する動画配信

社員全体の健康増進を目的に、社員が抱える健康課題をテーマとした動画を毎月配信しています。健康管理士と相談の上、毎月のテーマを決定し、動画を作成しています。

04. マッサージの無償提供

社員の怪我防止や疲労回復を目的としたマッサージ施術を無償で提供しています。

05. 検査・予防接種費用補助

病気の早期発見や、予防のために、下記の検査や予防接種費を会社が負担しています。

- ・人間ドックの費用一部負担*
- ・特殊健康診断*
- ・インフルエンザ予防接種費用負担*
- ・ピロリ菌検査費用負担
- *会社規程有り

06. フィットネス利用費補助

社員の健康増進を支援するため、社員のフィットネスジム利用費に対して補助金を出しています。社員だけでなく、社員の配偶者も補助金の対象とし、社員や社員の家族が健康な生活を送れるよう支援しています。



健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みを元に、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を日本健康会議が認定する制度です。

当社は、2020年より連続して健康経営優良法人の認定を受けています。

腐敗防止

行動規範の徹底

浜屋では、企業文化を明文化したCCS（Corporate Culture Standard）を用いて、「思考・行動・判断」の基準を明確にし、会社としての方向性を揃える取り組みを行っています。CCSの中では、顧客や取引先との公正公平な取引に関する説明の他、個人情報の取り扱いや利益相反に関する説明など、社員のコンプライアンス順守に必要な重要事項が明記されています。行動規範を可視化することで、社員の認識の統一に繋がり、社員一人ひとりの責任ある行動に繋がっています。



原則的な行動指針

品質の良い商品 サービスの提供

すべてのお客様へ平等・均等に良質な商品サービスの提供に努め、お客様からの高い評価と信頼を得る。

社会貢献

リユース・リサイクル事業を通じて循環型社会の発展に寄与する。また、これらの事業を通じて得た資金を元に現事業の拡大はもとより他の分野にまたがって事業を拡大し、社会貢献をしていく。

働きがいのある 職場環境

すべての従業員が互いに切磋琢磨し、やりがいのある仕事をする。

法令の遵守 (コンプライアンス)

法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商習慣に則り、誠実に行動する。

リスク対応

リスクの存在を組織として認識したうえで行動することを心掛け、組織に重大な損失を与える危険性が予想される場合は、回避・防止できるように行動する。

回収業者のコンプライアンス遵守に向けた取り組み

一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合と連携し、回収事業者のコンプライアンス意識の向上を目的とした勉強会や研修を実施しています。研修では、直近1年間で変更のあった法令に関する情報を提供し、法令順守の理解を深める取り組みを行っています。



二輪車盗難照会システムの活用

二輪車盗難照会システムを用いて、取引車両をチェックし、盗難車両の中古市場への流入を防止し、犯罪の早期発見に繋がっています。不公正な取引の抑制および排除を目指し積極的に取り組んでいます。

品質管理の徹底

浜屋では、取り扱い商品ごとに商品マニュアルを用意し、全事業所で統一した基準に沿った買い取りができるよう、品質管理を徹底しています。

E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱い

E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱いの輸入取引については、バーゼル条約を含む規制に関する法律（条約）に則り、適切に取り組んでいます。

リユース品の取り扱い

取引企業との契約は、リユース品を適切に修理できる技術と、修理フロー書の提出をクリアした該当企業のみリユース品の取引契約を締結しています。環境省に対して、修理不能品の返品と修理状況を定期的に報告するのとあわせて、取引企業を訪問し適切な修理がされているかを確認しています。環境省が取引国の現地調査を実施する際は、積極的に協力しています。



海外取引企業訪問写真



ナイジェリア



ウガンダ共和国



アラブ首長国連邦

社会貢献活動

私たちは、「企業は社会の公器であるからこそ、できる限り社会に御返しする」という信念を持っています。国内外で何らかの支援を必要とする人々がいれば、浜屋はその人々の助けとなるべく、組織、地域、国の垣根を越えて積極的に支援しています。



アフガニスタン大使館 アフガニスタン地震 50万円

アフガニスタンでの地震が発生した際は、被災者及び被災地の一刻も早い復旧を願い、当社の代表者が大使館を訪問し、参事官に義捐金を贈呈いたしました。浜屋と長年取引のある国で、取引先のお客様も一緒に訪問いただきました。

ウクライナ大使館 ウクライナ人道危機(戦争) 182万8610円

*お客様・従業員から寄せられた募金含む

ウクライナの人道危機を受け、ウクライナの人々を支援するため、ウクライナ大使館へ支援金を寄付いたしました。一日も早くこの状況が収束することを心よりお祈り申し上げます。



埼玉県中央部森林組合 20万円

埼玉県の森林環境保全の一助となるべく、埼玉県中央部森林組合に、森林保全の活動資金として寄付いたしました。

